

令和2年 自動車登録に伴う交通安全講習会における周知内容

本学では、構内交通規程を設け自動車などの交通規制を実施しています。

規程は構内の交通安全、交通秩序の維持、教育研究環境の保全を図ることを目的としています。

構内交通規程では、車両運転の心得として、自動車等を運転して学内に入構する者は、歩行者の安全を守り、学内の交通ルールを遵守しなければならないとなっています。

【構内交通規程について】

- 学内の最高速度は、時速20キロとなっていますが、直ちに停止できる速度で走行して下さい。
- 学内の道路は、道路交通法の適用は受けませんが、人身事故の場合は道路交通法を準用して処理をいたします。
- 大学内に入構し駐車した場合、学外に出るまで車での学内移動はできません。
- 登録票は、外から確認できるように必ずダッシュボードの上に掲示してください。掲示していないときは、貼紙等で警告します。
- 大学の中央にある、南部バイパスから北へ向かう道路は市道であるため、道路交通法の対象となり駐車禁止場所となります。（市道貝田線といいます）
なお、その市道に駐車した場合は警察や委託された民間の駐車監視員の取締り対象となるので駐車しないでください。

駐車違反の黄色いステッカーを張られ罰金を支払うこととなりますので、駐車はしないようにお願いします。

【駐車場について】

- 学内の駐車場は、学部等の所属ごとに分けられていますので、原則定められた駐車場に止めてください。

主な駐車場所は、

教育学部、芸術学部は教育3号館及び芸術学部1号館の駐車場

経済学部は、経済・教育学部の西側駐車場

理工学部は、2号館、3号館、7号館の駐車場

農学部は、事務局西側駐車場になっています。

もし空いていない場合は空いている場所を探して停めてください。比較的理工学部西駐車場が空いていますのでそちらを利用してください。最近駐車禁止の場所に停めている車が多いため、警備の方に見回りをしてもらい、違反車両のナンバー等を控えてもらっています。本年度より2回枠外に駐車違反すると許可を取り消すこともありますので駐車禁止の場所には停めないでください。特に、市道貝田線のモノタロウ用の駐車スペースを、利用者でない人が駐車場所代わりにしていることがありますが、企

業より苦情が寄せられていますので、モノタロウ利用以外での駐車は絶対に行わないようにしてください。

また、美術館西側駐車場への駐車は原則禁止です。

【学内での事故状況について】

- 例年事故が発生していますが、前方不注意でカーゲートのゲートバー破損する事故が多いです。

カーゲートのゲートバーを破損したときは自己負担で修復していただきますので、壊さないように注意してください。（1本約3万5千円します。）

ゲートには監視カメラもついていますので、破損した場合は正直に守衛室に報告してください。

【学内への入退構に伴う注意事項】

- 学内の中央にある市道の北側から（クリーニング店）からの入退構は、大学と自治会との協議により禁止となっています。
- 西門は、土日・祝日などの大学が休みの日は開放していません。
また、西門の開放時間は7時半から23時までとなっていますので注意してください。

以上

自動車登録申込書記入方法及び登録票交付手続きについて

●自動車登録申込書記入方法

下記の記入例に従い、記載してください。（すべてボールペンで記入、間違えた場合は二重線で訂正印を押す）

登録票番号	記載しない					自動車登録申込書 (原簿兼用)		提出日を記入		車種を記入 ×軽自動車 ×普通車		
申込年月日	2020 年 4 月 7 日											
申込者	自動車登録番号 (ナンバー)	佐賀	500	あ	12-34	車両メーカー 車種 色	トヨタ					
	(学籍番号)	19001234					プリウス					
	現住所	〒800-0000 佐賀県×〇市〇〇町 123-4					白					
※登録区分	学部生は こちらに○					年間登録	臨時登録	通学距離	片道 45 km			
※適用基準	通学時間 2時間以上 ・ 科目等履修生 通学距離 4 km以上 ・ 社会人等 ・ その他の事情 ・ 研究					院生は こちらに○		携帯電話	080-0000-0000			
								自宅電話	0952-00-0000			

- 注 意 1. 登録票番号以外の欄は、申込者が記入すること。
2. ※印の欄は、該当のものを○で囲むこと。

(裏面)

車両通学同意書

学籍番号 19001234
氏名 佐大 かつちー

学生本人が
記入する

上記の者が、現住所から通学することを証明すると共に、貴大学へ車で通学することについて、道路交通法等の交通規則を遵守させ通学途中及び通常運転中における事故等に関し貴大学へ一切迷惑を掛けないことに同意します。また、不正行為、迷惑駐車等があった場合は車両通学許可を取り消されることを承諾します。

佐賀大学長 殿

2020 年 4 月 7 日
保護者氏名 佐大 かつちー父 佐 契

同意書を確認後、保護者に
記入・押印してもらおう
日付は同意した日
(署名日)を記入する

●登録票交付手続き

1. 登録票交付期間

~~令和2年4月7日(火)～13日(月) 8:30～17:00~~

~~(学生生活課窓口受付時間内・平日のみ)~~

**新型コロナウイルス感染拡大防止及び前学期授業開始の繰り下げに伴い、下記の対応とします。
よく確認してください。**

2. 交付場所

学生生活課 課外・生活支援窓口（学生センター内）

3. パスカードの交付について

佐賀大学生協作成の別紙【学生・院生（パスカード交付対象者）の方へ】をご覧ください。

記入した自動車登録申込書と交通安全レポート
を郵送でお送りください。

※レポートの提出がなければ**登録票は発行できません**

※記入漏れのないようしっかり確認してください。

送付先:

〒849-8502 佐賀市本庄町1
佐賀大学学務部学生生活課
課外・生活支援担当 宛

★提出〆切: 令和2年4月13日(金)

登録票は**4月20日(月)以降**に学生生活課へ受け取りに来てください。

4月20日より前に受け取る必要がある場合は、登録票の準備ができているか、お問い合わせください。

可能な限り、4月20日以降の受け取りをお願いします。

なお、この対応は今回限りの対応となります。
ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

問合せ先

学務部学生生活課

課外・生活支援担当

電話 0952-28-8167・8175

FAX 0952-28-8948

Mail kagai@mail.admin.saga-u.ac.jp



学生・院生(パスカード交付対象者)の方へ

令和2年度 年間パスカード交付について

下記の要領で令和2年度 年間パスカードの交付をいたします。

記

- 交付期間 3/23(月)、25(水)、26(木)、27(金)
- 場 所 かささぎホール 2F 食堂ホール
- 時 間 10:00 ~ 16:00

●交付に必要なもの

佐賀大学自動車登録票を交付された方

- 令和2年度佐賀大学自動車登録票
- 学生証
- いまお持ちのパスカード(継続の方)
- 新規5,200円 継続4,200円

※3/30(月)以降は、かささぎホール2F 生協事務所にて交付事務を行います。
交付時間は平日の10:00~16:00 です。よろしくお願い致します。

佐賀大学生生活協同組合

交通安全講習会欠席者レポート

次の交通事故加害者の手記を読んで、交通事故に関してあなたが感じたことを400字詰め原稿用紙2枚以上(3枚目にいくこと)に記入してください。

(注)必ず手書きで書くこと。(パソコン不可)

※レポートと引き換えに自動車登録申込書を渡します。

提出先:学生生活課窓口

(「贖いの日々」ホームページより一部抜粋)

この手記は、交通事故の加害者となり刑務所に服役している人たちの悔悟の手記です。

この手記には、物心両面に重荷を背負ってこれからの生活を送ろうとしている受刑者の涙と反省の手記であり、行間には本人はもちろん、家族を含めた悲しみが滲んでおります。

「ハンドルを握ることは、人生を握ること」です。この手記を通じて、重大交通事故を起こして服役せざるをえなかった人たちの反省を教訓として、運転するすべての人々の戒めとしていただければ幸いです。

◇手離した命

この世で一番大切にしなければならぬ人を、僕は手離してしまった。

何て情けない男だろう・・・

その日、夕方に仕事を終え、前日から泊まりに来ていた彼女と映画を見に行き、その後、少し距離はありましたが、知人の居酒屋に晩ご飯を食べに行きました。

2人ともお酒は好きな方なので、2人でご飯を食べに行ったら酒抜きということは決してありませんでした。

そして、どこに行くにも車で移動していました。

午前2時前になり彼女も「帰ろう」と言い出したので、帰ることにしました。

そして、いつものように「これくらいの酔いなら大丈夫だろう」といい加減に考え、車

を運転し始めました。

店を出てすぐ彼女は「気持ちが悪い」と言い、シートを倒して寝てしまいました。

僕は少しでも早く家に帰って、ゆっくり休ませてやりたいと思いながらハンドルを握っていました。

と次の瞬間、工事現場のガードレールに激突。

私は居眠りしてしまったのです。

ハッと思い横を見ると、助手席でシートを倒して寝ていた彼女がいません。

その代わりに白いガードレールが後部席の方へに伸びていました。

まさかと思い後部席を見ると、彼女はガードレールで後部席に打ちつけられていました。

私は「何てことをしてしまったんだ」とある種の恐怖感を覚え、急いで救急車を呼びました。

その救急車が来るまでの数分、彼女を呼び続けましたが、何の返事もないままでした。

それは即死を意味していました。

私はと言えば、左肩の打撲程度でほとんど無キズに近い状態でした。

その後、私はその場で逮捕され、翌日釈放されました。

最初、彼女のご両親やご兄弟に謝罪に行った時は「顔も見たくない」と追い返されましたが、2度目からは気持ちも落ち着いておられ、非常に寛大な態度で接してもらいました。

決して許すことができないはずなのに、彼女のご両親は「あなたにつらくあたっても娘は返ってこないのだから」「娘が好きになった人だから」「あなたには娘の分までしっかり生きてちょうだい」といったお言葉をいただいたり、励ましてもらったりしました。

そして、事故を起こしてから約1年後、裁判が始まり、その2ヶ月後に懲役1年4月という実刑判決を受け、現在は刑務所で服役しています。

彼女のご両親に会いに行くたび、優しい言葉を掛けてくださったり、出所後の僕の生活を心配してくださったりして、とてもよくしてくださるのに、私は何もしてあげられません。

今はこの刑務所で受刑者としてしっかり反省し、今までのいい加減な気持ちをすべて捨て去ろうと努力しています。

そして、1日でも早く出所できるよう遵守事項を守り、1日でも早く償いをしていきたいと思っています。

事故を起こして殺人者になり、私の兄も世間に対し負い目を感じていると思います。

また、友人も同じ目に合っていると思います。

私のいい加減な気持ちがいったい何人の人に迷惑を掛けたか、また、いったい何人の人が悲しんだか、それを決して忘れることなく生きていきます。

私は殺人者なのです。

前科者です。

人間が一番してはならないことをやってしまいました。

それなのに、1年足らずで刑務所を出ます。

周りの人は「運が悪かったんだよ」と言いますが、私は決してそうとは思いません。

すべて私のいい加減な気持が起こした事故の原因だと思っています。

自分の命で償えられるのなら簡単です。

自分の命と引き換えに彼女が生き返るわけがないのです。

ならば、自分が彼女の分まで生きて、彼女のご両親に償いをしていくしかないのです。

それが彼女に対するおわびであるのだと思っています。

◇後悔

私が事故を起こしたのは、大学4年生の夏休みでした。その日は私の通っていた大学の近くにある居酒屋で夜の11時頃までアルバイトをしていました。夏休みということもあり、アルバイトが終わってから地元に戻ろうとしていました。アルバイトが終わり、いざ帰ろうと思った時にふと、「どうせ帰るなら友人と遊びたい」と思い、地元の仲の良い友人に連絡をしました。

友人は私と遊ぶことを承諾したため、私は地元まで3時間ほどかけて帰りました。そして、深夜2時頃、友人の家に迎えに行き、さらにファーストフード店での飲食をしたり、ボーリング場で遊びました。

朝方4時頃になり、そろそろ帰ろうと友人を家まで送る途中、コンビニに寄り、駐車場でコーヒーを飲みながら、友人に「この車マニュアルだから加速が凄いなよ。」などと話していました。

コンビニから再び車を走らせた後、私はさっき話したことを証明したいと思いました。そして、まだ朝方で道路には1台も車が走っていなかったこともあり、60キロ規制の道路を100キロを超える速度で走り出しました。途中、信号で止まった時に助手席の友人に「危ないよ。」と言われたのですが、今まで事故を起こしたことはなく、車の運転には自信がありました。当時の私は交通事故を起こすかもしれないということは全く頭にありませんでした。

信号が青になり、道路も見通しの良い2車線の直進だったので、私はまたアクセルを踏み込み、速度を上げていきました。その時前方に原付が走っているのが目に入りました。しかし、私は特に何も考えず、100キロ近い速度で右車線に移り、原付に追越しを掛けました。しかし、その瞬間、原付が右折をしてきました。私はブレーキを踏む余裕はなく、車の左前方が原付と接触しました。私の車は道路右側の縁石に乗り上げる一方、原付は車のフロントガラスに衝突し、フロントガラスは粉々になりました。

私は頭が真っ白になりました。しかし、自分が絶対にしてはいけないことをしたということは何かりました。私は放心状態になり車をそのままゆっくり走らせていました。

友人からの「止まった方がいい。」という声で我に返り、車を止め、事故現場に走り出しました。そこには原付はなく、人が倒れているだけでした。私は駆け寄り、声を掛けましたが、返事

はなく、体には痛々しい傷がいくつもありました。私は急いで、道行く車を止め、119番通報をお願いし、次に110番を頼みました。まず、救急車が到着し、相手の方を運んでいきました。次にパトカーが来て、私は警察署に連行されました。そして、2時間後、相手の方が亡くなられた事を聞きました。私は何が起きているのか全く理解出来ず、夢の中にいるようでした。

それから1か月の時が経ち、裁判が始まりました。私はそこで初めて被害者のご遺族の方々とお会いしました。悲しむご遺族の顔を私は見る事が出来ませんでした。私の起こした事故により何の関係もないこの人達が悲しんでいる。私は本当になんてことをしたのだろうと思いました。また裁判を傍聴した私の家族にもどれだけ心に傷を負わせたか分かりません。

判決は禁錮2年6か月。私は今、刑務所で服役していますが、いまだに何か夢のような感じがしています。しかし、現実には1人の大切な命を奪ってしまったことです。そのことにより深い悲しみに包まれている人達がいることを背負って生きなければなりません。

私自身、事故を起こすことが刑務所に入る事など、自分には全く関係ないことだと思っていました。しかし、今振り返ると交通事故は誰が起こしても不思議ではないと、当事者になって初めて心から思います。

私には、車は使い方によっては人の命を奪うものだという認識が全くなかったと言っても過言ではありません。

交通事故は何ひとつプラスを生みません。残るのは2つの家族の悲しみだけです。

命は元に戻りません。

私は今、後悔しています。

(職員記入)
□入構料免除
疾病等・その他

登録票 番号	N	自動車登録申込書 (原簿兼用)						
申込年月日	平成 年 月 日							
申込者	自動車登録番号 (ナンバー)	(例) 佐賀	500	あ	12-34	車両メーカー	(例)トヨタ	
	(学籍番号)					車種	(例)プリウス	
	現住所	〒					色	(例)白
	氏名				通学距離	片道	km	
※登録区分	年間登録・臨時登録					携帯電話		
※適用基準	・通学時間 2時間以上 ・通学距離 4 km以上 ・その他の事情					自宅電話		
		・科目等履習生 ・社会人学生 ・研究生						

- 注意 1. 登録票番号以外の欄は、申込者が記入すること。
2. ※印の欄は、該当のものを○で囲むこと。

車両通学同意書

学籍番号 _____

氏名 _____

上記の者が、現住所から通学することを証明すると共に、貴大学へ車で通学することについて、道路交通法等の交通規則を遵守させ通学途中及び通常運転中における事故等に関し貴大学へ一切迷惑を掛けないことに同意します。また、不正行為、迷惑駐車等があった場合は車両通学許可を取り消されることを承諾します。

佐賀大学長 殿

平成 年 月 日

保護者氏名 _____

印